

## 令和5年度 環境計量士等研修会アンケート結果

### 1. 研修内容

日 時：令和5年11月17日（金） 10時45分から17時20分まで

開催方法：オンライン開催（Zoomミーティングにて）

受講者：41名

（参考：R3 37名、R2 21名、R1 37名、H30 40名、H29 38名、H28 40名、H27 42名、H26 36名、  
H25 40名、R4 29名）\*R2、R3はオンライン開催

### プログラム

時 間	演 題	講 師 （敬称略）
10:20 ～10:40	受 付（この時間に、Zoomミーティングに入室してください）	
10:40 ～10:45	注意事項	
10:45 ～10:50	開講挨拶 一般社団法人愛知県環境測定分析協会 会長 一般社団法人日本環境測定分析協会 中部支部 支部長 大野 哲	
10:50 ～11:50	解体等工事の石綿飛散防止対策に係る 大気汚染防止法の規制について	愛知県環境局 環境政策部 水大気環境課 課長補佐 飯田 豊司
11:50 ～13:00	昼 食 休 憩（70分）	
13:00 ～14:30	有害な廃棄物を資源に変える 新しい窒素循環システムに挑む	国立研究開発法人 産業技術総合研究 所 ナノ材料研究部門 ナノ粒子機能設計研究グループ 主任研究員 南 公隆
14:30 ～14:45	休 憩（15分）	
14:45 ～15:30	JIS K 0102の規格体系の見直しにつ いて（第2回） － 第2部及び第3部 －	株式会社環境科学研究所 品質保証部 技術支援室 室長 牧原 大
15:30 ～15:45	休 憩（15分）	
15:45 ～16:45	①これまでの流れ分析のJIS化と告示 収録の経緯 ～流れ分析を計量証明事業で使用する ためのアドバイス～ ②有害物質（カドミウム）を使用しな い連続流れ分析法による硝酸及び全窒 素分析手法の開発	ビーエルテック株式会社 製造開発部 東京 R&D センター センター長 熊澤 頼博

16:45 ～17:15	製品紹介： 流れ分析装置 CFA と ICP-MS とのコラボ！ ～希釈酸添加加熱分解前処理装置 AATM（アトム）と自動ろ過装置のご紹介～	ビーエルテック株式会社 大阪本社 営業部 原 弘之
17:15 ～17:20	閉 会	

## 2. アンケート調査

別紙 1 にアンケート調査票を示す。参加者 41 名全員から回答があった（回収率 100%）。

## 3. アンケート調査結果

### 3.1 質問 1 「今回の研修会全般について、ご意見・ご感想」

好評意見が 85%であった。改善要望・提案ではリモート開催を希望する意見が半数を占めていた。

区分	回答数	比率
好評意見	29	85%
改善要望・提案	5	15%
クレーム（苦情）	0	0%

（注）比率は、受講者数 41 との割合

回答に記された全てのコメントを次に示す（内容の重複する回答あり）。

#### （ア）好評意見（好意的な意見）

評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新技術の紹介等、今後の参考になった。</li> <li>・プルシアンブルー錯体のアンモニア回収技術は、簡便な合成方法だったりカスタマイズのし易さから、色々と応用の利く技術だと感じました。JIS の分冊化に関して、取り回しはしやすくなったと感じる一方で、現場レベルでは、証明書の記載変更が大変になるのかなと感じました。</li> <li>・石綿や流れ分析等を弊社では分析していないので、イメージが難しかったですが、環境を守るというより労働者の安全に向けて多くの方が行動されているんだと感じました。</li> <li>・興味深いテーマが多く勉強になりました。</li> <li>・オンラインのみの開催でしたが、問題なく受講することができました。内容も最新情報が得られてよかったです。</li> <li>・全ての演題が業務に密接に関係していたため、非常に勉強になりました。</li> <li>・JIS の改定についての最新の動向や、新しい製品についての情報が知れてよかったです。</li> <li>・オンライン開催ということで、遠方の講師の貴重な講演を拝聴できたかと思えます。</li> <li>・どのテーマも非常に興味深く拝聴しました。また、事前に資料をお送り頂き予め目を通すことができたのもありがたかったです。</li> <li>・非常にわかりやすく参考になりました。アスベストに係る大防法については知識が不足している点もあったため、勉強になりました。</li> <li>・色々な話題が聞けて良かった。</li> <li>・毎年色々なテーマを組んでいただきありがたいです。有意義な時間が過ごせました。</li> <li>・窒素循環の取り組みや JIS の見直しについてのお話等勉強になりました。</li> <li>・新技術や JIS 規格体系の見直しについてなど非常にためになる内容でした。</li> <li>・大変ありがたいお話をありがとうございました。</li> <li>・身近い内容でしたのですごく勉強になりました。</li> <li>・知識を得るとい点では、良かったと思えます。JIS の今後の動向などをあらかじめ知れたので、活用させていただきます。</li> <li>・わかりやすく、興味のある内容が多かったのととてもよかったです。</li> <li>・ちょうど興味を持って及び業務としても調べている内容について講義を聞いてよかったです。</li> </ul>
----	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世の中の最新動向を把握する内容と分析に関する内容の両方がバランスよく聞けて良かった。</li> <li>・興味深いものが多く、また今後の動向を知る事が出来る有意義な研修内容でした。</li> <li>・現在問題になっている環境問題も講義にあり、環境問題に対する意識が高まった。また、JIS規格体系の見直しについてもなどもあり、直接業務に関わるため参加できて良かった。</li> <li>・大変わかりやすい内容でした。貴重な講義ありがとうございました。</li> <li>・内容が濃く興味深いと感じた。</li> <li>・アスベストの情報については、資料がよくまとまっており、顧客からの質問等に活用できそうで、良かった</li> <li>・JISの改正について詳しく聞けて勉強になりました。</li> <li>・オンラインで参加いたしました。移動にかかる時間も業務を行うことができ、また、講師の皆様のも有意義な講義も聴講でき、満足しております。一点、開催時間が遅れた際、アナウンスをして頂けると不安が解消されると思います。</li> <li>・法律や技術開発の話、業務に直接関係する実務的な話が網羅されていたので、内容的には良かったと思う。分析装置の紹介の部分については、ビーエルテックだけでなく他の分析機器メーカーが参加してくれるようになればなお良いと思う。</li> <li>・環境分析業務遂行に役立つ内容でしたので、本研修で得た知識を今後活かしていければと思います。途中で休憩を挟んでおり、時間配分も丁度良かったです。</li> </ul>
--	---

(イ)改善要望・提案

改善要望・提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマも様々なので、幅広く最近の動向を知りたい人には良いかも知れないが、テーマを細分化、各人が「知りたい」と思うことを集中的に情報収集できるようなテーマ別のセミナーを開催してほしい。</li> <li>・JIS規格の見直しの説明について、もう少し時間をかけていただきたかった。</li> <li>・午前中のアスベストの講義においては解体作業業者に必要な届出や知識を必要とする所が多く、もっと分析に関する情報がほしかった。JISの規格体系の見直しについてもっと細かい情報を盛り込んでいただければ尚良かった。</li> <li>・時間が長すぎる。</li> <li>・ここ数年、別の人に参加してもらっていましたが、久しぶりに参加しましたが「時間が長い（昼からの部）」、「内容が濃い」の理由から少々疲れました。</li> </ul>
---------	---

(ウ)クレーム（批判的な意見、苦情）

クレームは見当たらなかった

3.2 質問2 「特に興味があったもの、役に立つと思ったもの」

1題が30%以上、3題が15%以上と、多くの演題で参加者の興味を引き、有用であったと判断される。

演題	回答数	比率
①解体等工事の石綿飛散防止対策に係る大気汚染防止法の規制について	12	29%
②有害な廃棄物を資源に変える新しい窒素循環システムに挑む	21	51%
③JIS K 0102の規格体系の見直しについて（第2回） － 第2部及び第3部 －	35	85%
④-1 これまでの流れ分析のJIS化と告示収録の経緯 ～流れ分析を計量証明事業で使用するためのアドバイス～	17	41%
④-2 有害物質（カドミウム）を使用しない連続流れ分析法による硝酸及び全窒素分析手法の開発	17	41%
⑤製品紹介 流れ分析装置CFAとICP-MSとのコラボ！ ～希釈酸添加加熱分解前処理装置AATM（アトム）と 自動ろ過装置のご紹介～ （ビーエルテック株式会社）	11	27%

（注）複数回答あり、比率は受講者数41との割合

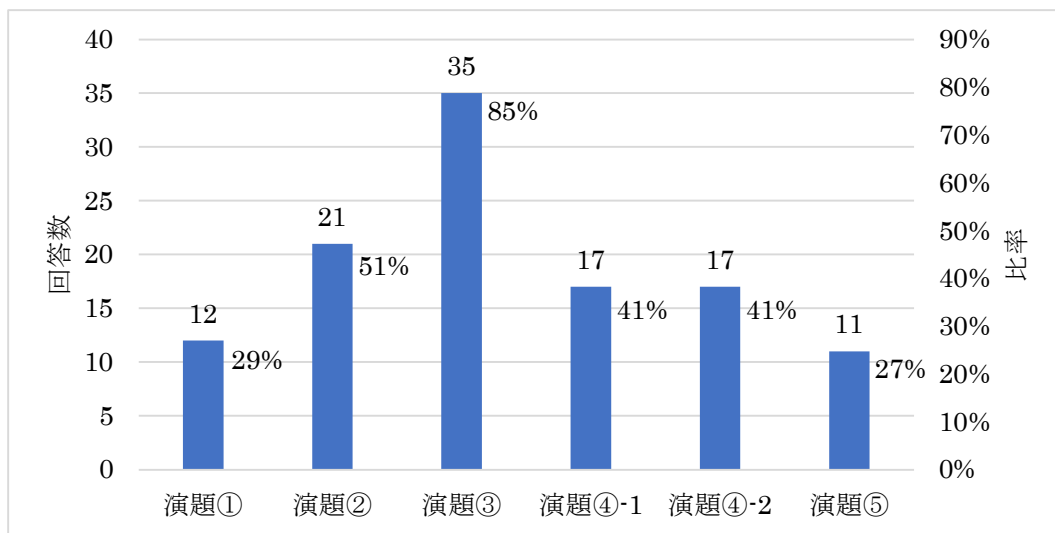


図 3.2. 特に興味があったもの、役に立つと思ったもの

回答に記された全てのコメントを次に示す（内容の重複する回答あり）。

(演題①) 「解体等工事の石綿飛散防止対策に係る大気汚染防止法の規制について」

所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法内容・改正について分かりやすく理解が深まった。</li> <li>・弊社では水分析を行っていないため関心は大防法メインですが、他の講演も面白いエピソードが聞けて良かったです。</li> <li>・とても良く要約された資料をありがとうございます。</li> <li>・石綿については法改正が入っている最中なので、座学で改めて聞けてよかった。</li> <li>・今後の業務に直接的に役立つ内容であるから。</li> </ul>
----	---

(演題②) 「有害な廃棄物を資源に変える新しい窒素循環システムに挑む」

所感	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に面白い内容だったのですが、環境分析の業務面では直接関わりのない内容でした。</li> <li>・資源循環、環境保全の観点から、過剰な窒素の回収も急務と考えるため。</li> <li>・このような新しい技術が開発されていることに、自社業務に取り込める可能性を感じた。</li> <li>・大学時代に排水処理の研究をしていたので、窒素化合物の処理に新しいサイクルを追加するのは大変興味深かったです。</li> <li>・とても興味深かった。</li> <li>・廃棄物を資源に変えるような話は面白かった。その他の題目についても予備知識として役立つ時があると思います。</li> <li>・とても良く要約された資料をありがとうございます。</li> <li>・自分の担当する業務に関係する分野に近いため</li> <li>・どの講演も有意な内容であったが、特に②窒素循環が興味深い内容でした。</li> <li>・放出されるアンモニアを回収し、原料として再利用するという発想に興味があった。</li> <li>・窒素循環システムなど大規模な構想・システム構築は大いに刺激を受けた。知らない分野の事だったので、このような流れが普及した時に、弊社のような分析機関は次にどう仕事に繋げる事が出来るのか。新たな仕事の想像という点で、良い刺激を受ける事が出来た。</li> <li>・環境問題や分析装置に関する技術開発に興味があるため。</li> <li>・地球環境や人体のために、現状より改善しようと試みてることは夢があって面白いなと感じました。</li> </ul>
----	--

(演題③) 「JIS K 0102 の規格体系の見直しについて (第 2 回) — 第 2 部及び第 3 部 —」

所感	<ul style="list-style-type: none"><li>・計量証明事業所としては、JIS 規格の見直しはダイレクトに影響が大きい。</li><li>・規格体系の見直しは普段の仕事に関係してくるため。</li><li>・現行 JIS からの切替時期についてご説明いただいたため。</li><li>・法令改正や最新技術の情報を得ることができた。</li><li>・法内容・改正について分かりやすく理解が深まった。</li><li>・最新の情報が聞けてありがたいです。</li><li>・JIS の見直しについて不勉強なところがあったので大変勉強になりました。</li><li>・私の業務にかかわりの深い部分で、業務の助けになる内容が多分に含まれていたため。</li><li>・総和法の中にある、分解後の検液への流れ分析法適応を知らなかった。改訂版が法律に適用した段階で速やかに移行したい。</li><li>・とても良く要約された資料をありがとうございます。</li><li>・自分の担当する業務に関係する分野に近い。</li><li>・JISK0102 の改定点を理由を含めて分かり易く説明してもらえた。</li><li>・JIS 見直しに関する今後の予定を確認できたから。</li><li>・計量証明にあたり、規格の改訂は最重要事項と考えます。</li><li>・今後の業務に直接的に役立つ内容であるから。</li><li>・金属分析に携わっているので、為になりました。</li><li>・JIS K 0102 についての最新情報を知りたかったから。</li><li>・JIS K 0102 の見直しについてはじめて話を聞いたので、色々な経緯も知ることが出来て良かったです。</li><li>・仕事と関係があるため。</li></ul>
----	---

(演題④-1) 「これまでの流れ分析の JIS 化と告示収録の経緯～流れ分析を計量証明事業で使用するためのアドバイス～」

所感	<ul style="list-style-type: none"><li>・自社導入している機器のため機能を改めて確認できた。</li><li>・改正事項などは複雑で解釈に迷うこともあるので、改めてまとめて説明して頂けると理解しやすくなる。</li><li>・自分の担当する業務に関係する分野に近い。</li><li>・金属分析に携わっているので、為になりました。</li></ul>
----	---

(演題④-2) 「有害物質 (カドミウム) を使用しない連続流れ分析法による硝酸及び全窒素分析手法の開発」

所感	<ul style="list-style-type: none"><li>・カドミウムを使用しないのはとてもメリットがあると感じたため。</li><li>・自社導入している機器のため機能を改めて確認できた。</li><li>・Cd コイルはできるだけ使いたくないと思っているが、代わりがなく困っている。代替法ができるだけ早く実現してほしい。</li><li>・金属分析に携わっているので、為になりました。</li><li>・環境問題や分析装置に関する技術開発に興味があるため。</li><li>・地球環境や人体のために、現状より改善しようと試みることは夢があって面白いと感じました。</li></ul>
----	--

(演題⑤) 「製品紹介 流れ分析装置 CFA と ICP-MS とのコラボ! ～希釈酸添加加熱分解前処理装置 AATM (アトム) と自動ろ過装置のご紹介～ (ビーエルテック株式会社)」

所感	<ul style="list-style-type: none"><li>・自社導入している機器のため機能を改めて確認できた</li><li>・業務に関連する情報であり、製品紹介も初めて見る装置であったため。</li><li>・分かりやすく装置がほしくなりました。</li><li>・省力化にとっても有効と感じた。</li><li>・新しい分析装置の話は非常に興味深かったが、当社はそこまで分析検体数がないので費用対効果がクリアできないのが残念である。</li><li>・金属分析に携わっているので、為になりました。</li></ul>
----	---

### 3.3 質問3 「来年度のテーマについての要望」

受講者の希望するテーマは法改正/規格改正に関するテーマが最も多く、中でも JIS K0102 の改正に関心が寄せられていることが伺えた。また、PFAS が希望するテーマとして多く寄せられていた。

希望するテーマ	回答数	比率
法改正／規格改正	8	20%
行政の情報	2	5%
計量証明の業務	1	2%
分析技術（前処理/機器分析）	4	10%
騒音、振動、低周波音	1	2%
その他	8	20%

(注) 重複するテーマは個別にカウント、比率は受講者数 41 との割合

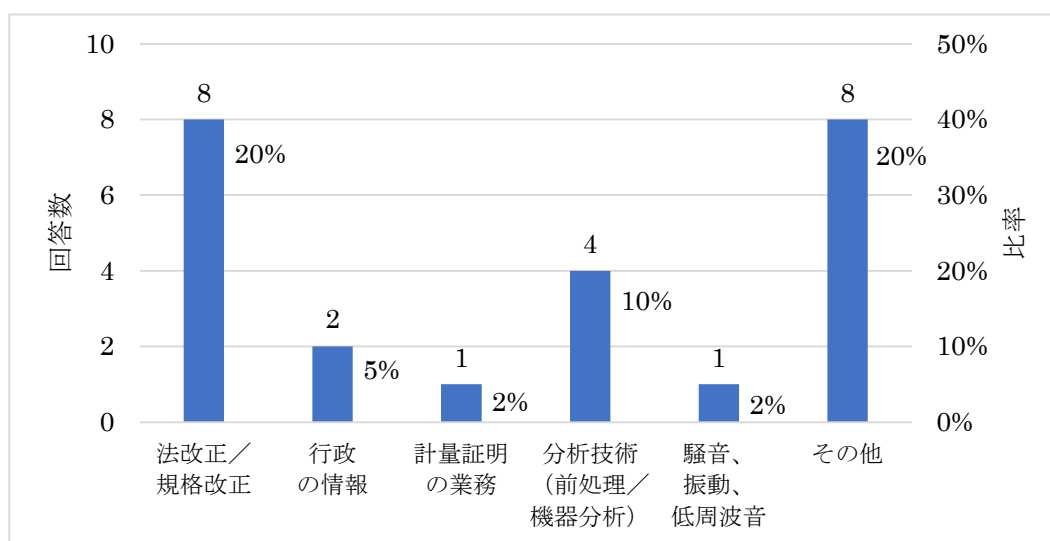


図 3.3. 来年度のテーマについての要望

回答に記された全てのコメントを次に示す（内容の重複する回答あり）。

#### 希望するテーマの意見

法改正／規格改正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS 分冊化に伴う見直しについて第 4 部、5 部もお願いしたいです。</li> <li>・ ③の第 4・5 部の解説、次回までに改正された法の解説</li> <li>・ JIS や告示等の改正情報は、引き続きテーマにして頂きたいです。</li> <li>・ 法令の改正、分析法の改正</li> <li>・ JIS K 0102 の体系見直しについては引き続き講義をしていただきたいと思います。</li> <li>・ 改正法に係るテーマでの開催を希望します。</li> <li>・ 法改正、規格改正</li> </ul>
行政の情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度のアスベストのように、新たに規制される物質があればそれをテーマにしていただきたいと思います。</li> </ul>
計量証明の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計量証明事業所が抱える問題（技術継承、人材確保、ISO の継続、ダイキソ分析の継続、電子化など）について、現在どう対処しているか、または今後の方針などをアンケートする。</li> </ul>
分析技術（前処理/機器分析）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分析自動化技術についてや、電子証明書の現状などについてテーマに取り上げていただきたいです。</li> <li>・ JIS の備考や注釈にある、分析結果に影響を及ぼすような妨害に関して</li> <li>・ 分析の精度管理に関する内容。</li> <li>・ 分析者による精度の差(熟練者、初心者)を無くすための教育方法等</li> </ul>

騒音、振動 低周波音	<ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音、振動、低周波音についての講演を希望します。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話題になっているもの。</li> <li>・バイオマス関連の分析項目と結果の判断方法</li> <li>・テーマは特にはないですが、新商品や分析機器メーカー商品など紹介があれば是非聞きたいと思います。</li> <li>・最先端排水処理技術</li> <li>・PFOS、PFOA</li> <li>・PFAS 分析の最新情報</li> <li>・PFAS の分析について</li> <li>・PFAS の分析や規制に関するテーマ</li> </ul>

### 3.4 質問4 「開催時期について要望」

希望開催時期については、「従来通り(11月頃)」で良いという意見が多かったので次回も11月開催で考える。

希望する 開催日時	回答数	比率
従来通り(11月頃)	29	71%
4～6月	4	10%
7～9月	0	0%
10～12月	5	12%
1～3月	1	2%

(注) 比率は受講者数 41 との割合

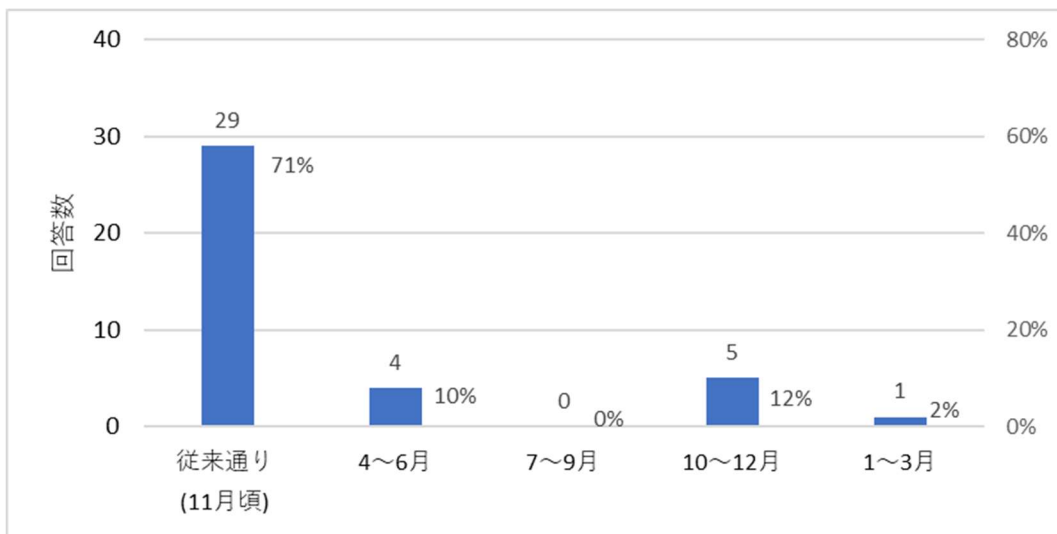


図 3.4. 開催時期について要望

### 3.5 質問5 「来年度以降本研修会の開催方式について」

受講者からは「オンライン研修のみ」を希望が 56%、「会場開催+交流会及びオンライン研修」を希望が 39%であった。

開催方式	回答数	比率
会場研修+交流会	1	2%
会場研修のみ	0	0%
オンライン研修のみ	23	56%
会場開催+交流会及びオンライン研修	16	39%

(注) 比率は受講者数 41 との割合

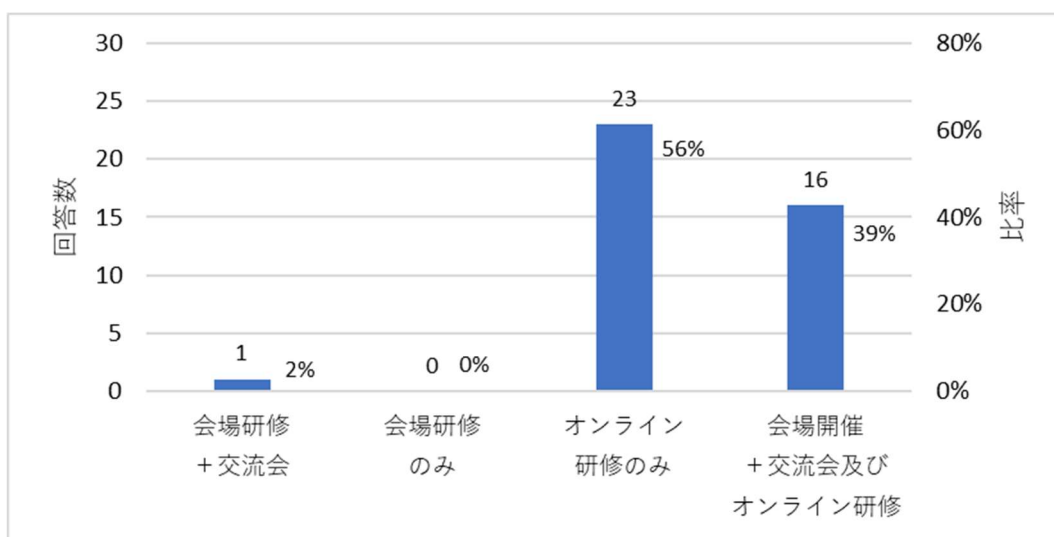


図 3.5. 来年度以降本研修会の開催方式について

回答に記された全てのコメントを次に示す（内容の重複する回答あり）。

会場研修+交流会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ分析業務に携わっている方と意見交換をしてみたい。</li> </ul>
オンライン研修のみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務が忙しい場合にも参加しやすく、オンライン開催がありがたいです。</li> <li>・移動時間等がないため</li> <li>・研修会の内容としてオンラインでも十分であるから</li> <li>・出張の手間と費用が削減できる。</li> <li>・場所に関係なく参加が可能であるため</li> <li>・受講しやすい。</li> <li>・交流会は開催されても参加できないと思うので。(時短勤務)</li> <li>・会社に居ながら研修が受けられるため。</li> <li>・時間的な面でメリットが大きい。</li> <li>・セミナーへの参加するためのハードルが下がるため。</li> <li>・基本的にオンライン研修が希望。発表者、聴講者ともに移動もなく、負担が少ない。</li> <li>・会場研修とオンライン研修一長一短があると思いますが、オンラインの方が移動時間が不要になるので効率的には良いと思います。</li> <li>・合理的で良いと思います。</li> <li>・時間や場所にとらわれず講義が受けられる効率の良さ</li> <li>・オンラインの方が参加許可が得られやすい。研修の前後時間で通常業務ができるため。</li> <li>・遠方の事業所も参加しやすいから。</li> <li>・時間が調整しやすいから</li> <li>・職場で受けることができるため</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の制約がある時期はオンライン研修は移動時間を取られることなく受講でき助かります。</li> <li>・移動しなくて良い分、参加するための日程調整がし易いため。</li> </ul>
会場開催＋交流会 及びオンライン研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なニーズに対応できた方が良いと感じたため</li> <li>・対面もオンラインも、両方に対応できるような開催方式だと参加しやすいため。</li> <li>・他社の方々との交流できる機会があると嬉しいです。準備が大変とは思いますができる限りお手伝いします。</li> <li>・他県から参加させていただきましたので、オンラインによる開催は参加しやすく、ありがたいです。ただ、会場で受講できる機会があれば、同業の方たちとの交流を持ちたいと思います。</li> <li>・沢山の参加方法があれば、参加しやすいから</li> <li>・まだ感染等を気にする方もいると思いますので、オンライン開催も続けていただきたいです。</li> <li>・個人的には会場開催のほうがもっと集中して聴講できると思います。都合上オンラインしか参加できない方もいらっしゃると思います。</li> <li>・オンライン開催があると参加しやすい</li> <li>・オンラインのほうが時間の都合がつけやすいので出席がしやすいが、質疑応答があまり活発でない気がするので、適時会場開催があったほうがよいと思った</li> <li>・会場研修が講演内容を理解し易いと考えますが、来場出来ない方の事を考えオンライン研修も併用するのが良いと思います。</li> <li>・現地開催のみだと日程により参加出来ない</li> <li>・オンライン研修は、提供される資料が見やすく良いです。ただ会場開催＋交流会も捨てがたいので、選択できれば良いと考えます。</li> <li>・個人的にはオンライン研修の方が良いですが、会場で聴講したい方もいると思うので、選択できた方が参加者の幅が広がると思います。</li> <li>・普段、同業者と接することがないので、会場開催も興味があります。しかし、行けないこともあるので、オンラインでも参加できると助かります。</li> </ul>

### 3.6 質問6 「オンラインによる開催にご満足いただけましたか？」

満足とほぼ満足の割合が95%であり、受講者に好評であった。

満足度	回答数	比率
満足	22	54%
ほぼ満足	17	41%
やや不満	1	2%
不満	0	0%

(注) 比率は受講者数 41 との割合

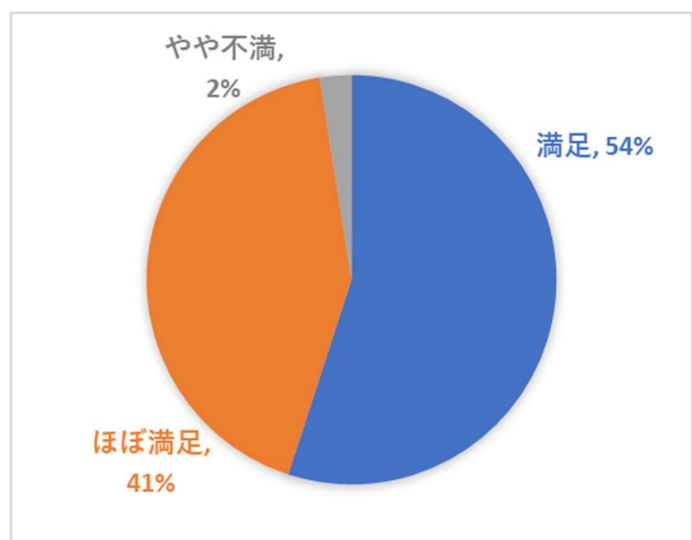


図 3.6. オンライン開催への満足度

回答に記された全てのコメントを次に示す（内容の重複する回答あり）。

<p>満足</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前よりオンライン開催を希望しておりますので、引き続きオンラインでお願いしたいです。</li> <li>・不満な点がなかったため</li> <li>・研修会の内容としてオンラインでも十分であるから</li> <li>・映像・音声が届くことなく、明瞭に受信できた</li> <li>・講演内容も不足なく聞きやすかったため。</li> <li>・移動がなく参加しやすかった。受講もスムーズでした。</li> <li>・質問はしにくいですが、講義については特に不満はない。</li> <li>・オンライン研修は、提供される資料（電子ファイル）が見やすく良いです。また紙の削減・保管場所が不要などメリットが大きいです。</li> <li>・講習内容を聞きながら、資料を確認しやすいから（目が悪いと会場でスライドが見づらい時がある）</li> <li>・声も聞こえやすく、見やすかったため、わかりやすかったです。</li> <li>・会場まで足を運ぶ必要がなく、回線自体も安定しており聞きやすかったため。</li> </ul>
<p>ほぼ満足</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義内容に関して、メリハリをもって聞くことができたため満足できました。</li> <li>・オンラインだと質問し辛くなる感じがする。</li> <li>・参加しやすかった</li> <li>・スライドが複雑ですと、どこの話をしているかわからない事があるのでポイントなどを適宜使用していただきたいです。</li> <li>・これは個人の理由で、集中力が続かない時があったです。</li> <li>・段取りや通信が切れることもなく、快適に聴講できた。</li> <li>・情報伝達についてのトラブルはほぼなく内容は確認できました。</li> <li>・概ね満足であるが、質疑応答が活発でなかった。オンライン特有なのか講義内容由来なのかわからない。</li> <li>・内容は満足でしたが、接続に一部不安も残るのが正直なところです。</li> <li>・時間通りで通信障害もなくスムーズに行えた。</li> <li>・講師の方の説明が分かりやすかったため。</li> <li>・遠方に行かなくても参加できる為</li> <li>・開始が遅れるときはチャット等でアナウンスをして欲しい。接続不良かと不安になる。</li> <li>・配信のトラブル等が無かったので、ストレスなく受講することができた。</li> </ul>
<p>やや不満</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後半の分析手法の開発や製品紹介は結構その分野に携わっていないと興味が薄いと考えられる。もっと講義内容を細分化して興味あるもの興味のないものを取捨選択して講義を受けられると効率的である</li> </ul>

### 3.7 質問7 「今回の受講料の割引（2・3人目）は、研修会への参加決定に影響したか？」

複数名受講希望における受講料割引については、おおむね好意的な意見が寄せられ、今後も受講者確保のため活用できるのではないかと考えられる。

<p>所感</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に1人で受講しているためあまり影響しませんでした。</li> <li>・割引がなければ人数を削減していた。</li> <li>・会社内で、計量証明に携わる人が複数人いるため、受講料割引は、研修会への参加決定に影響しました。</li> <li>・元々、複数の参加予定がなかったため特に影響しませんでした。</li> <li>・2名以上の受講予定がないので、影響なし</li> <li>・今回は、他業務の都合で弊社からは1名のみ参加いたしましたが、複数名受講希望者が居たため割引は魅力的でした。また、もう少し受講料が上がったとしても、録画配信等して頂けると参加しやすくなると思いました。</li> <li>・1人参加のため特になし。</li> <li>・一人の参加なので、関係なかった。</li> <li>・弊社では今回は事情で結局一人しか参加しなかったが、良い方法だと思います。ただ二人目三人目の金額はもっと割引してもいいのではないかと思います。</li> </ul>
-----------	--

- ・特に影響はないかと思えます。
- ・特にしていません。
- ・今回当社では私一人参加でしたので割引の影響は受けてないと思えます。2人以上参加する時はうれしいと思えます。
- ・特になし
- ・参加決定には大きく影響はしていません。
- ・複数の環境計量士が在籍する事業所にとっては、各社数人で参加しやすくなると思えます。
- ・影響がないとは言えないため継続を希望します。
- ・複数人で受講したかったが、業務の都合があるので難しい。
- ・1名参加のため、影響なし。
- ・割引がある方が参加し易い様感じます。
- ・影響なし。
- ・良い施策と思えます。ただ弊社では業務都合により複数名は参加できませんでした。
- ・特に影響しなかった
- ・単独での参加のため、影響なし。
- ・割引がなくとも参加を前向きに検討したと思えますが、経費削減を進めなければならない昨今は割引が助かります。
- ・特に影響しなかったが、割引は継続した方が良いと思う。
- ・受講の際に受講料については上長から聞いていなかったのですが、受講料の割引は上長の参加者募集促進につながったのではないかと思えます。
- ・影響しません。

#### 4. まとめ

今回、受講者は41名と多くの方に参加いただくことができ、かつ研修会内容全般について多くの受講者に満足頂く結果となり、研修会は好評であったと考えられる。

新型コロナウイルス感染症は5類感染症へ移行したが、コロナ禍に伴い得られたオンライン開催によるメリットが広く認知され、今後もオンライン開催を希望する声が多く寄せられた。その一方で、会場開催による同業者との交流を望む声も根強くあり、結果的にハイブリッド(会場開催+交流会及びオンライン研修)開催を希望する声も多く寄せられた。

今後、受講者の確保を念頭に開催方法について、慎重に検討していく必要があると考える。

以上

# 令和5年度 環境計量士等研修会 アンケート

開催日： 令和5年11月17日

	質問事項	回答		
問1	今回の <b>研修全般</b> について、ご <b>意見・感想</b> をお書きください。 (自由記述)			
問2	今回の研修会で特に <b>興味のあるもの、役に立つと思ったもの</b> をお選びください。(複数回答可)	①解体等工事の石綿飛散防止対策に係る大気汚染防止法の規制について		
		②有害な廃棄物を資源に変える新しい窒素循環システムに挑む		
		③JIS K 0102の規格体系の見直しについて(第2回) － 第2部及び第3部 －		
		④-1これまでの流れ分析のJIS化と告示収録の経緯 ～流れ分析を計量証明事業で使用するためのアドバイス～		
		④-2有害物質(カドミウム)を使用しない連続流れ分析法による硝酸及び全窒素分析手法の開発		
		⑤製品紹介 流れ分析装置CFAとICP-MSとのコラボ！ ～希釈酸添加加熱分解前処理装置AATM(アトム)と自動ろ過装置のご紹介～(ビーエルテック株式会社)		
	【理由】			
問3	来年度も本研修会を開催する予定ですが、 <b>テーマ</b> についてご要望はありますか。			
問4	<b>開催時期</b> についてご要望はありますか。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;">選択肢から選んでください</td> <td style="width: 70%; vertical-align: top;">【その他】 *具体的にご記入ください</td> </tr> </table>	選択肢から選んでください	【その他】 *具体的にご記入ください
選択肢から選んでください	【その他】 *具体的にご記入ください			
問5	来年度以降本研修会の開催方式についてお聞きします。	このセルをクリックして選択肢から選んでください。		
		【理由】		
問6	オンラインによる開催にご満足いただけましたか。回答を選択してください。	このセルをクリックして選択肢から選んでください。		
		【理由】		
問7	今回の <b>受講料の割引</b> (2・3人目)は、研修会への参加決定に影響しましたか。 ご <b>意見・ご感想</b> をお書きください。(自由記述)			

アンケート記入後、**11月24日(金)**までに愛知県環境測定分析協会(aikankyo@nifty.com)あてに、Excelのままメールでお送りください。

ご協力ありがとうございました。一般社団法人 愛知県環境測定分析協会 教育研修委員会